

## V 区政サポート一通信



## 1 区政サポーター通信について

「区政サポーター通信」は、アンケート調査や施設見学会などの区政サポーター活動についての概要を、随時まとめてサポーターの皆様にお送りしている。そして、平成24年12月からは、活動内容を広く区民の皆様にも知っていただけるように、大田区ホームページにも掲載している。

## 2 発行実績

区政サポーター通信第1号	平成25年5月発行
区政サポーター通信第2号	平成25年9月発行
区政サポーター通信第3号	平成25年11月発行
区政サポーター通信第4号	平成26年1月発行

# 区政サポーター通信【第1号】

## 区政サポーターの皆様へ

いつも大田区政にご理解とご協力を賜りまして、ありがとうございます。

「サポーター通信」では、アンケート集計結果の概要などを中心にお知らせしていきます。

区政サポーター（第2期）の初回号となる「サポーター通信第1号」では、今回ご応募いただいた方の内訳や関心事などについてまとめました。

今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 区政サポーター（第2期）始まりました！

### 1 応募総数

2月21日から3月19日までの募集期間において、112名の応募がありました。

### 2 区政サポーターの内訳

定数100名につき、地域（特別出張所管内人口）、性別、年齢構成を考慮して決定しました。

- 性別 男性54名 女性46名 計100名
- 平均年齢 56歳（男性57歳・女性55歳）
- 活動形態 郵便によるサポーター32名、  
Eメールによるサポーター68名

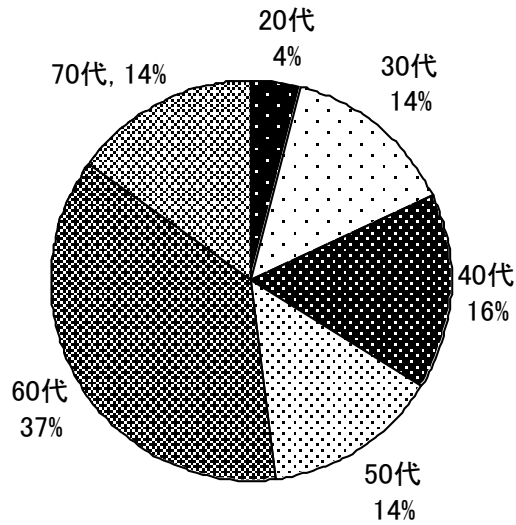
### 【地域別の内訳】

（単位：名）

出張所	人数	出張所	人数	出張所	人数
大森東	2	嶺 町	5	糀 谷	2
大森西	5	田園調布	2	羽 田	9
入新井	8	鶉の木	7	六 郷	8
馬 込	3	久が原	4	矢 口	8
池 上	5	雪 谷	10	蒲田西	10
新井宿	5	千 束	4	蒲田東	3

【年代別・性別の内訳】

区政サポーター(第2期) 100名

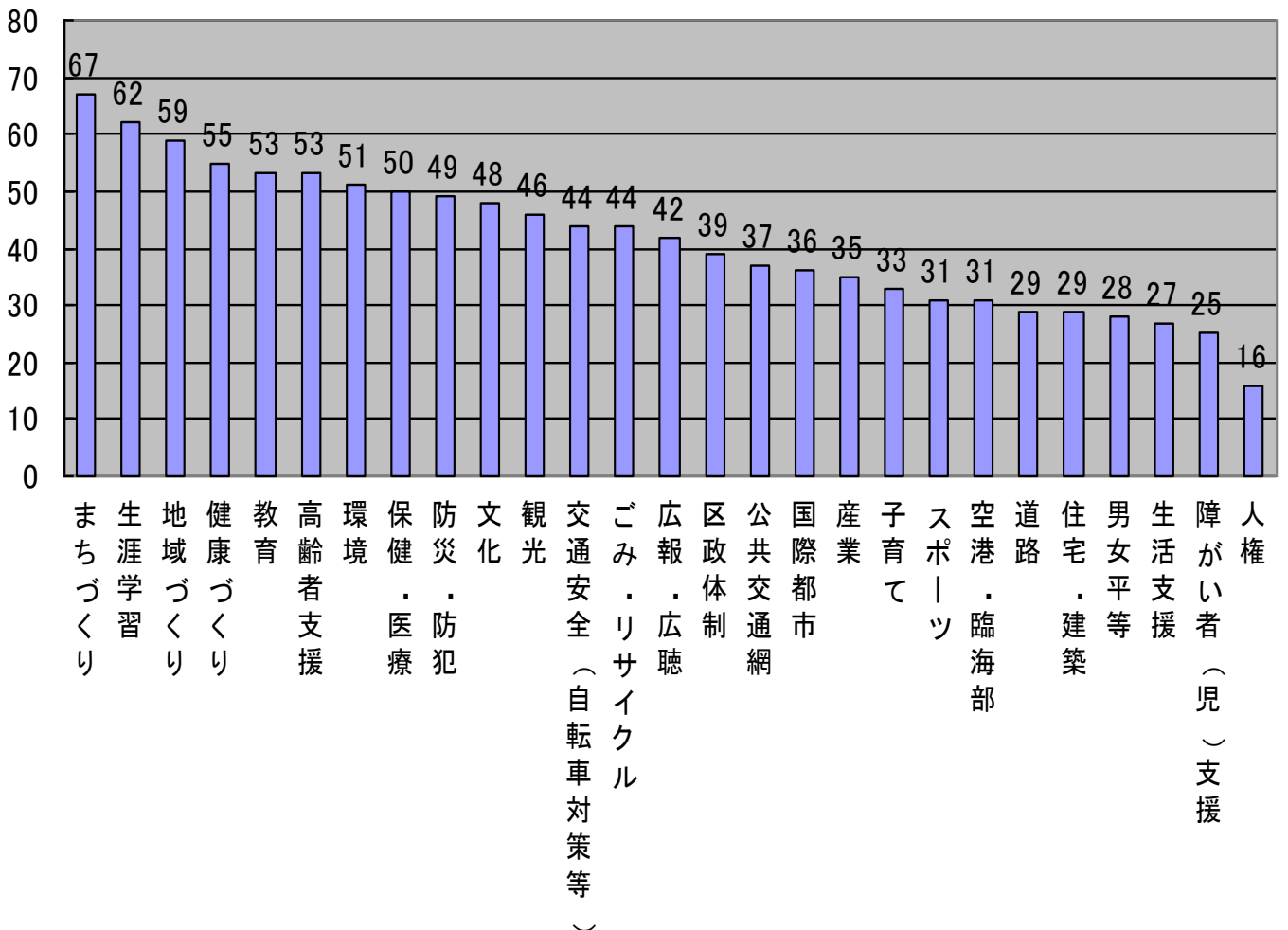


年代・性別構成 (単位:名)

	男性	女性	計
20代	2	2	4
30代	7	7	14
40代	7	9	16
50代	9	5	14
60代	20	17	37
70代以上	9	6	14
(合計)	54	46	100

3 興味関心事 (複数回答)

(1) 区政サポーター全体の興味関心事



(2) 男女別関心事TOP3

	男性	女性
第1位	まちづくり (40名)	生涯学習 (32名)
第2位	地域づくり (32名)	保健・医療 (29名)
第3位	生涯学習 (30名)	健康づくり (28名)

(3) 年代別関心事TOP3

	20代	30代	40代
第1位	まちづくり (3名)	環境 (10名)	教育 (11名)
第2位	生涯学習 (2名) 公共交通網 (2名) 地域づくり (2名)	生涯学習 (9名) まちづくり (9名)	子育て (10名) 保健・医療 (10名) 生涯学習 (10名)
第3位		教育 (8名) 地域づくり (8名) 防災・防犯 (8名) 文化 (8名)	まちづくり (10名) 地域づくり (10名) 環境 (10名)

	50代	60代	70代以上
第1位	まちづくり (12名) 地域づくり (12名)	生涯学習 (28名) 高齢者支援 (28名)	高齢者支援 (11名)
第2位	観光 (8名)	まちづくり (26名)	健康づくり (9名) 交通安全 (9名) ごみ・リサイクル (9名)
第3位	生涯学習 (7名) 環境 (7名)	健康づくり (24名)	教育 (8名) 防災・防犯 (8名)

## 【今後のスケジュール】

- ◎ アンケート調査：年4回、概ね2ヶ月ごとを予定しています。  
第1回は6月（予定）です。
- ◎ 施設見学：区内施設を予定しております。  
詳細が決まり次第、ご案内します。
- ◎ パブリックコメントの募集・イベント案内：随時ご案内します。

区政サポーター（第2期）の皆様には、約1年半の間、アンケート調査やパブリックコメントへの協力などのサポーター活動をお願いしてまいります。ご家庭の事情や、お仕事の都合もあると思いますので、可能な範囲でのご協力をお願いいたします。

事務局としましても、区政サポーター（第1期）の皆様からいただいたご意見もふまえながら、区政サポーター制度（第2期）をより充実していけるよう今後も努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、活動にあたっては、区政サポーター会議でお配りした『区政サポーターの手引き』をお読みください。



平成24年度 施設見学 「大田区総合体育館」

大田区役所 区民の声課 区政サポーター担当  
電話：03-5744-1135  
メールアドレス：supporter@city.ota.tokyo.jp



平成24年度 イベント参加 「人権週間行事」



大田区区政サポーター活動報告書

## 区政サポーター通信【第2号】

### 区政サポーターの皆様へ

いつも大田区政にご理解とご協力を賜りまして、ありがとうございます。

「サポーター通信第2号」では、先日行った「区政サポーター会議」の内容および「第1回アンケート調査」の集計結果（概要）についてご報告いたします。

### 区政サポーター会議

区政サポーター第2期の活動開始にあたり、「区政サポーター会議」を開催しました。日曜日の開催にも関わらず、多くのサポーターの皆様にご出席いただき、ありがとうございました。

#### ◇区政サポーター会議◇

(1)日にち 平成25年5月19日(日曜日)

(2)場 所 大田区役所 本庁舎2階 201会議室

(3)次 第

○区長あいさつ 【写真1】

○「大田区の今と未来！」(講演)

政策課長 【写真2】

○区政サポーターについて

区民の声課長

(4)出席者

区政サポーター 71名



【写真1】 区長あいさつ



【写真2】 講演中の様子



## 第1回アンケート調査結果 (概要)

「老人クラブ」では、老人クラブの活性化および今後の老人クラブ支援の参考とするため、調査を行いました。

「生涯学習」では、区民の生涯学習の推進にあたり、情報提供や学習相談、学習の機会提供等の事業を改善、実施していく上での参考とするため、調査を行いました。

「観光振興」では、今後の大田区が取り組む観光振興推進の参考にするため、調査を行いました。

### 1.調査期間

平成25年6月17日(月曜日)～7月1日(月曜日)

### 2.調査項目

#### ◇老人クラブ◇

- ①お住まいの地域にある老人クラブの認知度
- ②老人クラブの活動の認知度
- ③老人クラブに対するイメージと、そう思う理由
- ④老人クラブで取り組んでほしい活動
- ⑤老人クラブが果たすべき役割
- ⑥老人クラブに対する要望

#### ◇生涯学習◇

- ①この1年間に行った生涯学習の活動と、その方法・目的・困っていること
- ②生涯学習に関して知りたい情報
- ③生涯学習に関する情報の入手方法
- ④生涯学習に関する情報を入手するために利用したい方法
- ⑤生涯学習で得た知識・技術を活かしている場所
- ⑥生涯学習で得た知識・技術を活かすために参加したい活動
- ⑦今後取り組みたい生涯学習の活動
- ⑧地域についての課題で関心のあるもの
- ⑨生涯学習の推進のために区が取り組むべき施策
- ⑩区が実施した講座・教室などの参加経験

#### ◇観光振興◇

- ①魅力的な観光の場所
- ②区の観光情報の入手方法
- ③観光振興のために取り組むべきこと

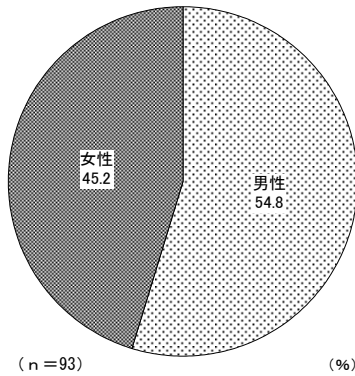
### 3.調査票回収結果 (調査票配付 100 票)

- 調査票回収数 93 票 (うち郵送 31 票、Eメール 62 票)
- 有効回収率 93.0%

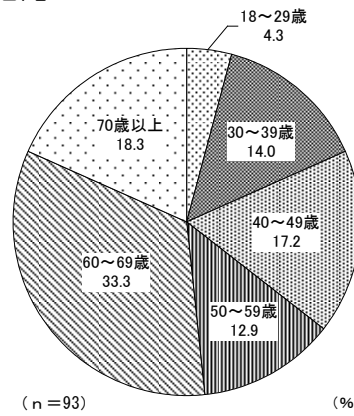
## 【第1回アンケート調査結果】

### 1 回答者の属性

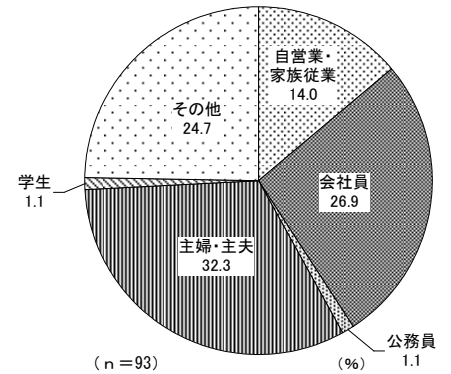
【性別】



【年齢】



【職業】



### 2 調査の結果（抜粋）

#### ◇老人クラブ◇

#### 【担当課コメント】

高齢者人口は増え続けている中で、老人クラブの加入者は減少しています。その結果、老人クラブ加入者の高齢化が進み、活動の固定化なども懸念されるところです。今まで、地域の中で口コミで加入者を増やし、活動を続けてきましたが、そのやり方を変えていく必要があると感じており、今回質問をさせていただきました。

老人クラブの認知度は「知らない」が44.1%と、特に40代以下は大きく下落します。活動の認知度としては、趣味やレクリエーション活動、スポーツなどに比べ、公園清掃や友愛（見守り）活動、ボランティアなどの社会奉仕活動は低いことがわかりました。

老人クラブの果たすべき役割については、「高齢者の心身の健康維持・増進を図る」ことが第1位であり、地域での社会奉仕活動については第4位となりました。自由意見からも、地域奉仕活動の前に、まず高齢者自身の心身の健康、仲間づくり、趣味の活動などが重要と考えられていることがうかがえました。

PRについては、予想どおり全面的に不足しているとのことのご意見を多くいただきました。今後、区政サポーターの方からいただいたこれらの貴重なご意見をふまえ、より参加しやすく、楽しい老人クラブになるよう、支援を推進してまいります。

## (1)お住まいの地域にある老人クラブの認知度

問1 あなたの地域に、老人クラブがあることを知っていますか。

お住まいの地域に、老人クラブがあることを知っているか聞いたところ、「加入している」が6.5%、「知っている」が49.5%となっています。

## (2)老人クラブの活動の認知度

問2 老人クラブが行っている活動の中で、知っているものは何ですか。

老人クラブが行っている活動の中で、知っているものは何か聞いたところ、「民踊、カラオケ、囲碁・将棋、習字などの趣味やレクリエーション活動」が47.3%で最も高く、次いで、「体操、ゲートボール、輪投げなどのスポーツ活動」(43.0%)、「公園などの清掃活動」(22.6%)、「友愛活動(ひとり暮らしや寝たきり高齢者の見守り、話し相手など)」(15.1%)、「老人ホームへの慰問などのボランティア活動」(12.9%)などの順となっています。

## (3)老人クラブに対するイメージ

問3 老人クラブにどのようなイメージをお持ちですか。

老人クラブにどのようなイメージを持っているか聞いたところ、「とても良い」(20.4%)と「まあまあ良い」(35.5%)の2つを合わせた、良いイメージを持っている人の割合は55.9%となっており、「あまり良くない」(15.1%)と「良くない」(5.4%)の2つを合わせた、良くないイメージを持っている人(20.5%)の割合を大きく上回っています。また、「わからない」は23.7%となっています。

## (4)老人クラブで取り組んでほしい活動

問4 老人クラブで取り組んでほしいと思う活動は何ですか。

老人クラブで取り組んでほしいと思う活動は何か聞いたところ、「健康維持・増進のためのスポーツ活動」が65.6%で最も高く、次いで、「地域での高齢者の見守り等を行う友愛活動」(55.9%)、「楽しく行える趣味・レクリエーション活動」(48.4%)、「地域清掃や公園の美化などの活動」(48.4%)、「教養を高める学習活動」(47.3%)、「児童の登下校時の見守り活動」(47.3%)などの順となっています。

(5) 老人クラブが果たすべき役割

問5 高齢社会において老人クラブが果たすべき役割は何だと思えますか。

高齢社会において老人クラブが果たすべき役割は何だと思うか聞いたところ、第1位に挙げられた割合が最も高いのは、「高齢者の心身の健康維持・増進を図る」で50.5%となっています。次いで、「地域での仲間づくり」(26.9%)、「公園の美化、見守り活動など地域での奉仕活動の担い手」(10.8%)などの順となっています。

第1位から第3位までを累計すると、「高齢者の心身の健康維持・増進を図る」が83.9%で最も高く、次いで、「地域での仲間づくり」(73.1%)、「趣味の活動への参加の機会づくり」(62.4%)、「公園の美化、見守り活動など地域での奉仕活動の担い手」(52.7%)などの順となっています。

(6) 老人クラブに対する要望

問6 老人クラブの活動を多くの方に知ってもらい、活動を活性化させ、老人クラブが魅力的な団体となるために、必要なことは何だと思えますか。

自由記述形式で聞いたところ、70人から95件の回答がありました。内容の分類にあたっては、記述の趣旨を損なわないように留意しながら文言を改めたものもあります。すべてのご意見は、報告書に掲載いたします。

分類	件数	内容(主な声)
広報活動に対する意見	41件	老人クラブのコンセプトが、日常的に声をかけ合い、徒歩で集まることのできる小さな地域の範囲だとすると、口コミで広がっていけば良いように思う。
		現在、私の住んでいる地域で老人クラブがあることの認識がなかった。何をやっているのか、どういう存在なのかをもっとアピールすることが必要だと思う。
		公園の美化、見守り云々やっていることを知らなかった。区報に載せてほしい。
		他の世代へのPRを、区報やホームページなどで認知してもらい、合同で行える活動、例えば、高齢者の知恵(漬物教室、植物の手入れ方法、書道等)を開催したら、多少費用がかかっても参加したいと私なら思う。
		おおた区報や区のHPに、地区毎にあるクラブの紹介をして周知を促すことが必要だと思う。漠然としたイメージのみで158あるクラブの話を聞いたことがない。見落とししているのであればもったいないことだ。
		例えば、ゼッケンなどを付けて、地域の奉仕活動をするなどして、多くの人に存在を知ってもらう事。

		<p>会員の募集や行事の予定、報告等の活動内容を町内会等の掲示板や回覧板等を利用して、より多くの人に知ってもらうPR活動を重視し、参加者・協力者を増やす努力が必要ではないか。</p> <p>老人クラブの活動を区の職員あるいはNPO 団体により説明する機会を増やす。現在区役所 1 階にて行っている展示方式の活動は、資料を置いてあるだけなので、積極的な広報活動とは判断しにくい。</p>
老人クラブの活動に対する意見	25 件	<p>若い世帯は共働きが多く地域貢献がなかなかできないのが現状だと思うので、シニア世代に地域美化や地域見守り、子育て見守り等に貢献していただけるともっと世代を超えた支え合いができるのではないかと思います。</p> <p>趣味でもいいが、せっかくの長い人生経験を活かして、社会活動ができれば、地域活性化や困っている若者や赤ちゃんなどの助けになり、人も集まるのではと思う。</p> <p>限られた老人だけの集まりではなく、地域力を強くするために、地域のクラブ年齢対象者には幅広く参加してもらい、また若い世代の人と一緒に取り組める様な活動、たとえば公園の美化や防犯活動などをやるとよいと思う。</p> <p>老人といえども現代は仕事を持っている人も多いので、曜日・時間を考慮していただきたい。行きたいコースがあっても、平日の日中のみはいかがかと。</p> <p>小さくかたまるのではなく、年に何回かは新しい交流の場、知識の場となるような楽しい企画がほしい。国際交流・バス旅行・レクリエーションの会など。</p>
老人クラブの組織に対する意見	17 件	<p>自立した組織であること、また時代を継承していくこと、そして老人同士のネットワークが必要であると考えます。</p> <p>意外と、よそ者が入り辛い閉鎖的イメージが強いので、もっと地域などに、オープンな環境を整えないといけないと思う。地域の人々も行き交える、オープンスペース☆コミュニティーセンターとするのも必要だと思う。</p> <p>老人クラブで行われているさまざまな活動に、中途から参加する場合、すでにいくつかのグループが出来ており、参加しにくい場合があるようだ。誰でも気軽に参加できる雰囲気づくりが大切と思う。</p>
「老人クラブ」の名称についての意見	8 件	<p>「老人クラブ」の名前そのものが、従来からのイメージから現代に相応しくないと。もっと新しい呼び方を工夫すべき。</p> <p>老人クラブというネーミングからまずは変えるべき。お年寄りだけが集まるという雰囲気になると、そういう場所が嫌いと言う高齢者の方もいる。</p>
その他の意見	4 件	<p>町会、自治会の役員も高齢化しているが、町会、自治会がもう少し積極的に動くよう役所側から働きかけが必要ではないか。</p>

## ◇生涯学習◇

### 【担当課コメント】

今回の調査では、区民の生涯学習に関する活動状況や意識を知るとともに、区民の学習活動を支援するための施策検討の参考にすることを目的としました。

1年間の活動状況を見ると、何か学習をした方が8割以上であり、その過半数の方が自分自身の教養を高め、趣味を豊かにし、健康の維持・増進のために活動されていること、地域活動やボランティア活動に役立てるためというように、自分自身の向上や地域活動に役立てることを目的としています。また、学習で得た知識や技術を活かすためにまちづくりや地域づくりに参加したいという回答が60%近くもあり、生涯学習についての関心が高く、積極的に学習の成果を地域に活かそうとされていると思われます。

一方で、身近に機会や場がない、必要な情報が入手できないために生涯学習の活動に結びつかないという問題点も浮かび上がりました。生涯学習に関する情報入手方法としては、大田区報をはじめとする区からの紙媒体情報、新聞や雑誌等マスメディアからの情報が多く、インターネットも50%以上の方の入手方法として挙げられました。また、今後の情報提供方法としてもホームページを使った情報提供が67.7%と最も多くの方に求められていることがわかりました。

力を入れるべき施策としては、講座や教室などの参加しやすい学習機会の提供、生涯学習の成果を活かせるしくみづくり、地域の課題解決にむけたコミュニティづくりの支援、情報提供や相談対応を充実させ生涯学習と地域活動に関するコーディネート機能を高めることなどが上位に上がっています。

今回いただいたご意見を参考に、区民の皆様が参加しやすい学習機会提供、学習の成果を活かした活動支援、生涯学習や地域活動に関する情報提供やコーディネートについて、具体的な施策を検討し、取り組みをすすめてまいります。

### (1)この1年間に行った生涯学習の活動

問7 この1年間に、どのような生涯学習の活動を行いましたか。

この1年間に、どのような生涯学習の活動を行ったか聞いたところ、「健康づくり・スポーツ」が48.4%で最も高く、次いで、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸など）」（39.8%）、「ボランティア活動・地域活動（青少年育成、PTA活動など）」（39.8%）、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）」（34.4%）、「社会問題に関するもの（社会・時事問題、国際問題、環境問題など）」（26.9%）などの順となっています。

## (2)生涯学習に関して知りたい情報

問8 生涯学習に関して、どのような情報が入手できれば役に立つと思いますか。

生涯学習に関して、どのような情報が入手できれば役に立つと思うか聞いたところ、「区が行う講座やイベントの情報」が77.4%で最も高く、次いで、「都や近隣区等が行う講座やイベントの情報」(65.6%)、「地域活動やボランティア活動に関する情報」(57.0%)、「地域のグループ・団体などの活動に関する情報」(52.7%)、「民間の行う講座・教室等の情報」(48.4%)などの順となっています。

## (3)生涯学習に関する情報の入手方法

問9 生涯学習に関する情報をどのように得ていますか。

生涯学習に関する情報をどのように得ているか聞いたところ、「おおた区報、地域情報紙、社会教育情報紙、各施設の情報紙」が82.8%で最も高く、次いで、「新聞、雑誌、タウン誌、テレビ、ラジオなど」(59.1%)、「インターネット(大田区ホームページを含む)」(50.5%)、「公共施設の窓口(チラシ、ポスターを含む)」(39.8%)、「掲示板や回覧板」(26.9%)などの順となっています。

## (4)生涯学習に関する情報を入手するために利用したい方法

問10 生涯学習に関する情報を入手するために、どのような方法があるとよいと思いますか。

生涯学習に関する情報を入手するために、どのような方法があるとよいと思うか聞いたところ、「ホームページを使った情報提供」が67.7%で最も高く、次いで、「生涯学習のガイドブックや情報誌」(52.7%)、「活動者による情報提供・情報交換の機会」(40.9%)、「専門の相談員やコーディネーターによる学習相談」(18.3%)などの順となっています。

## (5)生涯学習で得た知識・技術を活かしている場所

問11 生涯学習で得た知識や技術をどのように活かしていますか。

生涯学習で得た知識や技術をどのように活かしているか聞いたところ、「自分の人生が豊かになっている」が67.7%で最も高く、次いで、「自分の健康増進・維持に役立っている」(50.5%)、「ボランティアや地域活動に活かしている」(38.7%)、「家庭や日常の生活に活かしている」(37.6%)、「仕事や就職に活かしている」(18.3%)などの順となっています。

(6)生涯学習で得た知識・技術を活かすために参加したい活動

問 12 生涯学習で得た知識や技術を活かすために、どのような活動に参加してみたいですか。

生涯学習で得た知識や技術を活かすために、どのような活動に参加してみたいか聞いたところ、「まちづくりや地域づくりに参加する活動」が59.1%で最も高く、次いで、「学習・文化・スポーツ活動を支援する活動」(44.1%)、「地域ぐるみで学校を支援する活動」(35.5%)、「環境、福祉、人権など社会問題の解決をめざす活動」(33.3%)、「趣味的な学習を支援する活動」(30.1%)などの順となっています。

(7)今後取り組みたい生涯学習の活動

問 13 今後、どのような生涯学習をしてみたいですか。

今後、どのような生涯学習をしてみたいか聞いたところ、「教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)」が61.3%で最も高く、次いで、「健康づくり・スポーツ」(59.1%)、「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸など)」(53.8%)、「地域社会に関するもの(地域の歴史、環境、文化など)」(48.4%)、「ボランティア活動・地域活動(青少年育成、PTA活動など)」(44.1%)などの順となっています。

(8)地域についての課題で関心のあるもの

問 14 地域についての課題で、関心のある学習内容は何かですか。

地域についての課題で、関心のある学習内容は何か聞いたところ、「まちづくりや地域づくりについて」が67.7%で最も高く、次いで、「環境について」(51.6%)、「地域の歴史・文化・自然について」(47.3%)、「防災について」(41.9%)、「国際理解・多文化共生について」(36.6%)などの順となっています。

(9)生涯学習の推進のために区が取り組むべき施策

問 15 生涯学習の推進に向けて、どのような施策に力を入れるべきだと思いますか。

生涯学習の推進に向けて、どのような施策に力を入れるべきか聞いたところ、「講座や教室などの参加しやすい機会を用意する」が61.3%で最も高く、次いで、「生涯学習の成果を活かせるしくみづくりをすすめる」(47.3%)、「身近な地域における健康づくりやスポーツ活動を支援する」(36.6%)、「情報提供や相談対応を充実させ、生涯学習や地域活動に関するコーディネート機能を高める」(35.5%)、「地域の課題を学び、解決に向けた地域のコミュニ



ティづくりを支援する」(35.5%)などの順となっています。

## (10) 区が実施した講座・教室などの参加経験

問 16 大田区では、さまざまな講座や教室などを実施しています。あなたが、生涯学習の機会として参加したことがあるものはどれですか。

大田区が実施したさまざまな講座や教室などのうち、生涯学習の機会として参加したことがあるものを聞いたところ、「区民大学、地域講座など教育委員会の講座」が34.4%で最も高く、次いで、「図書館の催し物、講座など」(28.0%)、「文化の森の行う催し物、講座など」(23.7%)、「消費者講座(消費者生活センター)」(19.4%)、「大田区文化祭」(17.2%)などの順となっています。

## ◇観光振興◇

### 【担当課コメント】

観光振興については、区内における訪れた人が楽しいと感じる場所の有無を尋ねたところ、「あると思う」と答えた方は6割を超える63.4%で、多くの方が、区内に楽しいと感じる場所があると考えていることがわかりました。具体的な場所の上位3箇所は、「羽田空港」、「池上本門寺」、「多摩川の自然、景観」の順でした。

また、観光情報の入手方法は、「おおた区報」が一番多く69.9%、次いで「大田区・大田観光協会が作成したパンフレット・マップ類」、「ポスター等の掲示物」と続いています。印刷物から情報を得る方が多いことから、区報掲載やパンフレットの配布、ポスター掲示等は観光情報を発信するツールとして有効であると考えられます。

取り組むべき施策としては、「散策ルートやウォーキングイベントなどの充実」「自由に回遊するための観光サインの充実」「ボランティアガイドなどによる観光案内の充実」が上げられており、観光基盤の拡充が課題であることがわかりました。

今回いただいたご意見を参考に、関係部署や大田観光協会とも連携をし、今後の観光振興施策に取り組んでまいります。

## (1) 魅力的な観光の場所の有無

問 17 大田区には、訪れた人が楽しいと感じる場所があると思いますか。

大田区には、訪れた人が楽しいと感じる場所があると思うか聞いたところ、「思う」が63.4%と高くなっています。「思わない」は12.9%、「どちらともいえない」は21.5%でした。

大田区には、訪れた人が楽しいと感じる場所があると「思う」と答えた人(59人)に、そう思う場所を具体的に聞いたところ、56人から126件の回答がありました。回答内容をまとめた結果は以下のとおりです。すべてのご意見は、報告書に掲載いたします。

順位	場所	件数
1位	羽田空港	31件
2位	池上本門寺	19件
3位	多摩川の自然、景観	11件
4位	洗足池公園	8件
5位	大森ふるさとの浜辺公園 多摩川台公園 都立城南島海浜公園 大森 海苔のふるさと館 温泉	4件

※その他のご意見

- 区内には誇れる場所が数々あるが、その場所を冷えこんだ商店街の皆さんによろこばれる観光地として、商業につなげて頂きたい。例えば羽田でしたら、道の駅などをつくり、地場産の品物を置く。そこで働く人は、その地域で商店をしていた人達を受け入れてあげる。多くの方々の力を持ち寄り、区内の活性化につなげてほしいと思う。

(2) 区の観光情報の入手方法

問 18 大田区の観光情報を主にどのようなかたちで入手しますか。

大田区の観光情報を主にどのようなかたちで入手しているか聞いたところ、「おおた区報」が69.9%で最も高く、次いで、「大田区・大田観光協会が作成したパンフレット・マップ類」(49.5%)、「ポスター等の掲示物」(33.3%)、「大田区・大田観光協会のホームページ」(25.8%)、「テレビ番組・情報誌」(15.1%)などの順となっています。

(3) 観光振興のために取り組むべきこと

問 19 大田区でより一層訪れる人が楽しめるようにするには何が必要だと思いますか。

大田区でより一層訪れる人が楽しめるようにするには何が必要だと思うか聞いたところ、第1位に挙げられた割合が最も高いのは、「散策ルートやウォーキングイベントなどの充実」で23.7%となっています。次いで、「人が集まる駅前等での定期的な観光イベントの実施」(14.0%)、「主要観光エリアにおける観光案内所の設置」(11.8%)、「自由に回遊するための観光サインの充実」(10.8%)などの順となっています。

第1位から第3位までを累計すると、「散策ルートやウォーキングイベントなどの充実」が55.9%で最も高く、次いで、「自由に回遊するための観光サインの充実」(36.6%)、「ボランティアガイドなどによる観光案内の充実」(36.6%)などの順となっています。

## 【次回のサポーター通信】

次回のサポーター通信では、第2回区政サポーターアンケート調査結果の概要等についてご報告いたします。

大田区役所 区民の声課 区政サポーター担当

電話：03-5744-1135

メールアドレス：[supporter@city.ota.tokyo.jp](mailto:supporter@city.ota.tokyo.jp)



## 区政サポーター通信【第3号】

### 区政サポーターの皆様へ

いつも大田区政にご理解とご協力を賜りまして、ありがとうございます。

「サポーター通信第3号」では、「第2回アンケート調査」の集計結果（概要）についてご報告いたします。

### 第2回アンケート調査結果（概要）

大田区観光振興プランおよびそのプラン実現のための重点計画について、認知度やご意見を伺い、今後の大田区が取り組む観光振興推進の参考にするために調査を行いました。

#### 1.調査期間

平成25年8月16日（金曜日）～8月26日（月曜日）

#### 2.調査項目

##### ◇観光振興◇

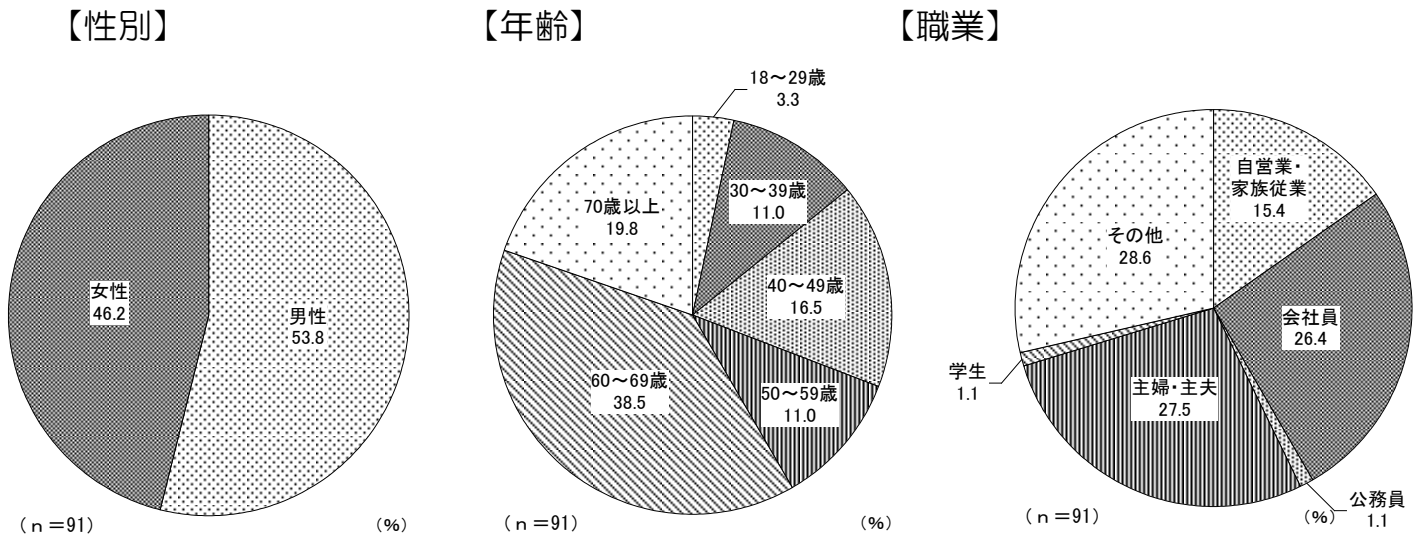
- ①大田区観光振興プラン及びそのプラン実現のための重点計画の認知度
- ②「羽田空港の国際化に対応する仕組みづくり」の認知度
- ③「大森と蒲田を拠点とした都市観光への取り組み」の認知度
- ④大森・蒲田のにぎわい
- ⑤「水と緑のまち大田区を楽しむ仕組みづくり」の認知度
- ⑥「ものづくり」の見学や体験等を取り入れた観光ツアーの参加意向
- ⑦大田区観光振興プラン推進のための重点計画で取り組むべきこと
- ⑧大田区の特徴や魅力

#### 3.調査票回収結果（調査票配付99票）

- 調査票回収数 91票（うち郵送32票、Eメール59票）
- 有効回収率 91.9%

## 【第2回アンケート調査結果】

## 1 回答者の属性



## 2 調査の結果（抜粋）

## 【担当課コメント】

平成25年度は、21年3月の大田区観光振興プラン策定から5年目を迎え、プラン実現のための重点計画を見直す時期にあたります。そこで、これまでの5年間を振り返り、今後の新たな重点計画の立案の参考とするため、アンケートにご協力をいただきました。今まで観光課が進めてきた観光振興プラン施策の、区民の皆様における認知度合やご意見を伺わせていただいております。

大田区観光振興プランそのものの認知度はあまり高くはありませんでしたが、『来～る大田区大使』や『羽田空港国際化キャンペーンイベント』、大田観光協会で行った『おおたの桜スタンプラリー』・『大森ふるさとの浜辺公園でのカヌー教室』等の参加型イベントを中心に、プランに基づく施策については比較的認知度が高いという結果がでました。

特に大田区のものづくりを観光資源とする産業観光ツアーの取組みについては、「参加したい」が約9割と大変高い数値となりました。

今回いただきましたご意見を参考に、今後の観光振興施策に取り組んでまいります。

(観光課)

(1)大田区観光振興プラン及びそのプラン実現のための重点計画の認知度

問1 大田区観光振興プラン及びそのプラン実現のための重点計画をご存知ですか。

大田区観光振興プラン及びそのプラン実現のための重点計画を知っているか聞いたところ、「内容を理解している」が7.7%、「読んだことがある」が25.3%、「名前は聞いたことがある」が37.4%となっています。「知らない」は28.6%でした。

(2)「羽田空港の国際化に対応する仕組みづくり」の認知度

問2 大田区の観光施策の中で重点的に取り組む事業として、「羽田空港の国際化に対応する仕組みづくり」を挙げています。平成22年の羽田空港国際化を契機に大田区では、外国人旅行者の誘客等をめざし、さまざまな取組みをしてきました。取組みのうち、知っているものは何ですか。

「羽田空港の国際化に対応する仕組みづくり」に関する取組みのうち、知っているものは何か聞いたところ、「来～る大田区大使（大田区観光大使）」と「羽田空港国際線ターミナルに設置した大田区観光情報コーナーでの情報提供」がともに33.0%で最も高く、次いで、「大田区観光PR特使」(30.8%)、「羽田空港国際化記念キャンペーンイベント」(29.7%)、「大田区観光紹介用外国人向け多言語マップ・多言語パンフレットの作成」(28.6%)などの順となっています。

(3)「大森と蒲田を拠点とした都市観光への取組み」の認知度

問3 大田区の観光施策の中で重点的に取り組む事業として、大森・蒲田を大田区のにぎわいの中心拠点であると位置づけ「大森と蒲田を拠点とした都市観光への取組み」を挙げています。取組みのうち、知っているものは何ですか。

「大森と蒲田を拠点とした都市観光への取組み」に関する取組みのうち、知っているものは何か聞いたところ、「羽田空港国際化記念キャンペーンイベント」が36.3%で最も高く、次いで、「来～る大田区大使（大田区観光大使）」(31.9%)、「大田区観光PR特使」(24.2%)、「大田区観光紹介用DVD・パンフレットの作成」(19.8%)、「海外のメディアやフリーパーへの大田区観光情報を発信」(9.9%)の順となっています。

## (4)大森・蒲田のにぎわい

問4 ここ5年間で、大森・蒲田のにぎわいは活性化したと思いますか。

ここ5年間で、大森・蒲田のにぎわいは活性化したと思うか聞いたところ、「おおいのにぎわった」が5.5%、「多少にぎわった」が37.4%で、「以前とあまり変わらない」が57.1%となっています。

## (5)「水と緑のまち大田区を楽しむ仕組みづくり」の認知度

問6 大田区の観光施策の中で重点的に取り組む事業として、東京湾や多摩川に隣接する地勢をいかし「水と緑のまち大田区を楽しむ仕組みづくり」を挙げています。取り組みのうち、知っているものは何ですか。

「水と緑のまち大田区を楽しむ仕組みづくり」に関する取り組みのうち、知っているものは何か聞いたところ、「大森ふるさとの浜辺公園でのカヌー教室・ツーリング」が51.6%で最も高く、次いで、「おおたの桜スタンプラリー・おおたの桜ウォーク」(38.5%)、「天空橋船着場を活用したクルーズイベント」(25.3%)、「水辺の周遊コースの紹介マップ」(25.3%)の順となっています。

## (6)「ものづくり」の見学や体験等を取り入れた観光ツアーの参加意向

問6 大田区の大田区観光振興プラン推進のための観光施策の中で重点的に取り組む事業として、『世界に誇る「おおたのモノづくり」をみせる仕組み』を挙げています。今年度から、大田区のものづくりを観光資源化するために、ものづくり見学を受け入れる工場のデータベース化や受入環境整備、モニターツアーを実施していきます。  
「ものづくり」の見学や体験等を取り入れた観光ツアーに参加したいと思いますか。

大田区のものづくりを観光資源化するための、「ものづくり」の見学や体験等を取り入れた観光ツアーに参加したいと思うか聞いたところ、「参加したい」が89.0%と高くなっています。

(7)大田区観光振興プラン推進のための重点計画で取り組むべきこと

問7 大田区では今年度、大田区観光振興プラン推進のため、今後5年間の重点計画を新たに策定し、観光振興を進める予定です。  
この重点計画で是非取り組んだ方がいいと思われる地域やトピック、観光施設、キーワード等がありましたら、具体的にお書きください。

自由記述形式で聞いたところ、80人(87.9%)から104件の回答がありました。内容の分類にあたっては、記述の趣旨を損なわないように留意しながら文言を改めたものもあります。すべてのご意見は、報告書に掲載いたします。

分類	件数	内容(主な声)
観光ガイド・PR	17件	<p>JR蒲田の大型化で品川や川崎横浜に行かなくても東京が体験できるようにする。京急と東急を連結して大田区全体で盛り上げられるようにする。 大田区民に大田区体験をさせ、宣伝要員に育てる。 多摩川などで本格的なマラソン、自転車、水泳などのスポーツ施設をつくり、トライアスロンなどの練習が安全にできるようにしてほしい。 大田区民全員参加のボランティア、研修、資格、教育、運動をお金をかけずに開催してつながりを作ってほしい。 大田区に住んでいても全く情報が入ってこないのも、もっとメールで大田区内に営業してほしい。</p>
		<p>いかに区民等に知らしめるかが問題である。1つの方法として、パンフレットやインターネット等でいろいろ紹介しているが部分的なものになってしまう。有料でもいいので一冊にまとめ手元においておき、手軽にちょっと出かけてみようというものがあればよいと思う。又、住民等から紹介して欲しいものを取り寄せるのも。</p>
		<p>観光ルート(史跡別・工場別・商店街別等)を策定し個人的にまたはイベントにおいて繰返し活用するよう習慣付ける体制を構築する。都度、観光ルートを作っているようでは大田区の観光の周知に寄与しないばかりか、観光振興は発展しない。</p>
		<p>パンフレットが多数同封されているが、どこに置いてあるのかわからない。観光協会の事務所の場所がよくわからない。もっと人が通るところ目に付くところに移転してはどうか。</p>
		<p>観光客のターゲットを正面から行っても、日本を代表する例えば富士山、京都などにはかなわないと思う。それよりもいわゆるバックパッカー的旅行客をターゲットにして、実は日本・東京にはこんな面白い所があると戦略を変えたほうがよいと思う。工場とアートの融合。羽田神社、六郷神社の祭りの活用、</p>



		<p>多摩川河口～東京湾・呑川の有効利用。いわゆるオタク文化の聖地化など。</p> <p>トランジット時間別の観光ルート作り</p> <p>羽田空港が国際化され、区も一生懸命広報に努めてくれている。このことは良く理解しているが、もう一步踏み込み、日本にみえる観光客が大田区を一巡するコースを旅行社とタイアップして実施してもらえたら、冷え込んでいる街の商店にお金が落ちることまぎれないことと思う。</p>
<p>自然・歴史・芸術・文化</p>	<p>16 件</p>	<p>馬込文士村と言うが、どこにどの作家関連の家などがあるのか殆ど知られていない。大森駅の西口にある神社に登る参道に看板があるのを見たことがあるぐらい。また、文士村を巡るツアーなどを企画してみるのも一策かも。</p> <p>重点計画では「歴史」や「文学」などに関わる地域に特にスポットをあてる。大田区の著名人やテレビ放映の成果を継続的に活用する。推進にあたっては高齢者、サラリーマンOBなどの活用が重要であり、NPO、ボランティアのメンバーあるいはサポーターとしての育成が大切である。「観光」と「健康」「スポーツ」「グルメ」などを統合した特徴ある施策をしてほしい。</p> <p>多摩川古墳群と雪谷の大塚は、地味な素材かもしれないが、歴史的に価値のあるものである。大田区の台地は太古の昔より人々が暮らしている。各地に遺跡も発掘されており、切り方によっては面白い発見もあるのではないかと思う。</p> <p>羽田空港の国際化にともない、日本の文化的なさを紹介する施設や舞台があってもよい。</p> <p>温泉（黒湯等）が沢山有るので入浴の気持ちよさをもっとアピールしたらよいと思う。入浴の仕方をはっきりと告知すること。</p>
<p>交通アクセス・宿泊</p>	<p>14 件</p>	<p>海外にこの計画をPRすること、そして大田区マイクロバスを恒常的に運用して海外の方々に観光・ものづくりの見学をしていただく。</p> <p>京急線は羽田空港に直結しているにも拘らず品川から素通りするだけの路線になっている。JRと京急間の分断感が強く、移動は簡単ではない。観光資源である大森、例えば馬込文士村等への京急側からのアクセスを良くする、案内を密にするだけでも違ってくるのではないかと思う。</p> <p>羽田空港を意識しない方がよいと思う。東京スカイツリーのように施設内は集客するがその周辺は困難としている。交通のアクセスの良し悪しが観光振興の決め手と思う。</p>

		<p>タマちゃんバスについて、もっと観光的な売りは出来ないものか？土・日だけでも馬込文士村→池上本門寺界隈→六郷上水→桜坂などのもっと他の区の人が来たくなるようなコースを考えてみても。他区ですが台東区・文京区・渋谷区のコミュニティバスは楽しく利用している。我が大田区にも切に望む。</p>
まちづくり、商店街	11件	<p>駅前等のメインストリートをもっと安全で、歩きやすくして欲しい。地下式の駐輪場の整備を進めて欲しい。</p>
		<p>商店街の多さ。大森の海苔やこのエリアでしか買えない商品のアピール。</p>
		<p>JR蒲田駅周辺何となく薄汚く整備されないものか。特に西口周辺パチンコ屋さんの行列等。観光PRもよいが、まちの整備の考慮したく。</p>
ものづくり、中小企業群	9件	<p>来日している、働いている外国人の職場訪問。</p>
		<p>つい最近、蒲田のグランデュオで「大田区のモノづくり」として催事をやっていた。私はあまり見られなかったが、足を止めている人が結構いたので、興味がある人は多いのでは？大田区＝中小工場、それも世界に通用できる技術を保持していることが、最近やっと認知されつつあるので、鉄は熱いうちに打て！ではないが、重点的に観光と絡めてすすめる時はいつ？今でしょ！協力する。</p> <p>外国人観光客は、来日して行きたい所は大田区以外にたくさんあると思うのでなかなか集客できないと思う。「工場のモノづくり」は世界に誇れるものだと思うので「築地市場」とまでは行かなくてもそれに近い形でツアーができるようにすればいいのではないか？</p>
多摩川	8件	<p>多摩川などサイクリングロードの充実。荒川や江戸川に比べて整備が遅れているように感じる。</p>
		<p>大田区と言えは今更言わずもがなだが、やはり羽田空港と多摩川ではないか？ただし現状ではこの2つの資源が有効に結びついていない様に感じる。例えば今人気の多摩川サイクルロードは海老取川周辺で何となく終わってしまう。少なくとも環八道路沿いに国際線ターミナルを越えA滑走路のトンネル入口付近くらいまで、歩きやすい散歩道（ボードウォーク等）サイクリングロードや親水公園（日陰の有る休憩所、ベンチ、東屋等の施設）を整備すれば、空港と多摩川そして羽田の街を連続性のある観光スポットとして今以上に観光客を含めより大勢の人にアピールできると考える。</p>
羽田空港・臨海部 イベント	7件	<p>羽田空港には遠方のかたがたがとても興味をもっていると聞く。区でツアーを組んで他の地域の方にもっとアピールしてはどうか。</p>
		<p>羽田空港と隣接する地域をアピールする計画がいいと思う。た</p>

		<p>例えば、四季ごとに集客できるイベントの立ち上げなどがいいと思う。城南島のキャンプ・バーベキューは夏、春は池上梅園、平和の森公園など、安価で楽しめる施設をアピールし、区内以外からの集客が必要と考える。また自転車での来訪は施設利用割引など、一部エコも考えた施策がいいと思う。</p> <p>すでに意識した取り組みが行われていると思うが、「参加型」がキーワードになると思う。見るだけではなく実際に触ることができる、やってみることができる、など。あと、アート性を採り入れるのもよいと思う。</p>
生活環境	4 件	<p>区民のマナー向上。歩きタバコ率の高い街にリピーターは来ない。</p> <p>新しい街、昔からの街が混在していて昔からの古い街は毎朝のお掃除が出来ておらず小汚い感じがする。外からの観光を目指すなら、古くてもきれいを目指す必要があると思う。昔の物、街をきれいにしてみることは心が安らぐ。区全体で毎朝お掃除キャンペーンを行うとよいと思う。素敵な街には人が集まる。</p>
その他の意見	7 件	<p>外国人観光客を受け入れるにも、地域の理解が必要だと思う。言葉の壁よりも、気持ちの壁を作らない教育？を浸透させる必要があると思う。</p> <p>住民として大田区の観光行政を意識することは無い。今日送付してもらった資料と大田区のホームページを見て以下の点を思った。①大田区の観光振興プラン等は住民にほとんど知らないのではないかと。実にもったいない！外国からの訪問者を対象とするプランと、住民に魅力をアピールするプランを2本立てとして積極的に行うべき。後者に対する施策は十分でない。②大田区の魅力発見ウォークに蒲田地区を入れて欲しい。例えば松竹撮影所の跡地、蒲田周辺の神社、仏閣（歴史も合わせて）、活気ある商店街（梅屋敷、雑色など）③近場の魅力発見ウォークの実施を町内会や小学生を対象に行い区がサポートする。④外国人対象の企画に日本人参加者を募る。かつて mics の外国語研修生と蒲田～糀谷～羽田（七福神）を歩いたが実におもしろかった。⑤今回配布のパンフレットは、住民は知らないのではないかと。出張所→町会に配布し町会長会議し町会民に知らせる努力があってもよい。</p> <p>私には、何を観光と考えているのかわからない。日本人を対象にするのか、外国人を対象にするのかどの年代の人を対象にするのか？地方から来る知人、親類をどこへ連れて行くかを考えた時、大田区内をかぎらず交通のアクセス（駐車場）その場にぎわい連れて行った先が有名などころでも言ったときにぎわい店舗がなければあまり感動してくれない。</p> <p>大田区の観光に対してあまり関心を持っていなかった事もあり知る機会が少なく申し訳ない。同封の「イベント等のご案内」を読んで自分の足で歩いて大田区の魅力を味わい良い所を発見してみようと思っている。</p>

(8)大田区の特徴や魅力

問 8 あなたが思う大田区の特徴や、あなたしか知らない大田区の魅力などがありましたら、具体的にお書きください。

自由記述形式で聞いたところ、71人(78.0%)から回答がありました。内容の分類にあたっては、記述の趣旨を損なわないように留意しながら文言を改めたものもあります。すべてのご意見は、報告書に掲載いたします。

分類	件数	内容(主な声)
自然・歴史・芸術・文化	16件	大田区の歴史、特に関東大震災後に移り住んだ文士の人たちのことなどを調べていくととても面白い。
		多摩川が、昔に比べて格段とキレイになっているというニュースを見た。蒲田を流れる呑川もみんなでキレイにすればよいのでは。そうすれば、今はあまり目を留められていないが、自分が好きな川沿いの桜を見に、よそからも花見客が来るかも。
		地元に神社が多くあり、銭湯マップならぬ神社マップがあれば、興味がある。
		大田区は工業だけが特徴ではないと思う。もっと緑・文化の豊かさをPRして欲しい。
		実は大田区はアートと関わり深い町。今や衰退気味だが美術素材のユザワヤがありアート専門学校の日本工学院がある。また町工場の作る部品は機械だけでなくアートの面からもすばらしい。千代田区のように廃校を利用した芸術発信の場が欲しい。多摩川河口(特に大師橋付近)をマリンスポーツに開放。ウィンドサーフィン、カヤック、スタンドアップボートなどやったらいいと思う。川の中央に浮かぶ中州を夢のある島に改築。羽田祭り、六郷神社の祭り、8月15日の花火はかなり強力な観光資源となりうると思う。縁側のある家、昔の長屋をモチーフにした住宅などを区が保護あるいは作って下町風情を作り出す。
多様な地域性	12件	大田区は山の手の文化の香る町と下町のものづくりの町の融合する地域だ。
		下町、モノづくり等なくなった駅前商店街等、大田区の努力に気づいていない人が多いのではないか。モノづくりでは「オープンファクトリー」で新田、下丸子地区の町工場見学会は非常によい企画、これを蒲田、糀谷地区にも広げられないか。
		大田区は面積も広く人口も多く東京都を代表する区であり、交通の便もよいが通過するだけになっている。目的を持って大田区に来てもらうためには多摩川と羽田空港の歴史と景観が魅力あると思う。

		大田区は広域にわたる地域で構成されているため区民が集まった時、意見の違いや対処方針に差異があり一体感を作りにくい区であると思う。一方、さまざまな観光があり特徴的な工業があるので観光進行には限りない魅力を含んだ区であると思う。
生活環境	10件	下町風情、雑然としたまちなみ。
		商店街の多さ、町内会が活発に活動している（特に南六郷2丁目）、ご縁ネット発祥の地。神奈川方面にも東京方面にも至近で便利。路地が多く江戸しぐさとの出会い。野良猫を地域で大事にしており彼らを通じて交流が深められた。
		いまだに、ご近所が仲のよい地域が、若干残っている。その地域では、大きな声で挨拶の音が響いています。また、町内会イベントにお集まりの方は、顔がわかるようになりました。いざというときに心強いです。
		23区内なのに、なんだか田舎っぽい。
臨海部	7件	環境的に水辺（海・川）に恵まれていることは強みだと思う。水上観光コース・探索コースの設定、PR等。現在あるコースもPR不足のためか知られていないと思う。同様に、文化コースも、昔の京浜工業地帯としても有名な工場もモノ作りも、子供の探索コース、体験コース、観光コースとしてネットで内外にPRすると良いと思う。
		城南島、東浜島などの臨海郡をもっと活用すべきと思う。やはり交通アクセスが問題となる。
交通アクセス	6件	道が狭い＝自転車で移動がしやすい街ではないか。高齢者対策も重要だが、都内での車離れは顕著だし、自転車での誘客を是非アピールすることがいいと思う。また自転車置き場であれば駐車場と違い、コストは安いと思う。
		江戸名所図会での大田区は多くはないのに距離があり歩いて巡ることは大変だ。たまちゃんバスではないけれど不定期でも良いので巡回バスができれば素晴らしいと思う。
羽田空港	5件	世界で4番目に乗降客が多い点をもっとPRし、それを支える産業を紹介すべき。
		糺谷地域は第3ターミナルと言われるほど客室乗務員の方が多く住んでいるので華やかだ。
ものづくり、中小企業群 商店街	3件	ものづくりの大田と言うイメージが強い。景気が悪くなると、大田の町工場の映像が流れる。逆に言えば、大田＝町工場というイメージを利用してみたら・・私たちにはわからないすごい技術は、観光資源だと思う。
		商店街に活気があるいい意味でのごちゃまぜ感。若い人・年配の人、庶民的なところ・高級住宅街どちらも感じる。
その他の意見	9件	あらゆる場面において大田区をPRすることが大切であり、認

	<p>知していただくことが第一である。行政以外に企業、商店街、教育機関など個別組織が大田区にあることをPRしていただく。最終的には大田区住民が地便の地域を全国にPRしあるいは世界に情報発信し満足していただくに相応しいハード、ソフトの地域にすべき。</p>
	<p>同じ大田区の住人といっても馬込地区と蒲田地区とではお互いに関心がうすいのでは？と感じることがある。大森・蒲田地区を中心に活性化しても同じ区民が魅力を感じられなければ広まらないので区民が一体化できる方向にまず進んでいって欲しい。</p>
	<p>先進国日本の玄関口である区を活かした戦略が必要であると考えている。東京湾や多摩川を加えてワクワクとした期待感を感じられる大田区にしてゆきたいと思っている。</p>

### 【次回のサポーター通信】

次回のサポーター通信では、人権講演会および第3回区政サポーターアンケート調査結果の概要等についてご報告いたします。



大田区役所 区民の声課 区政サポーター担当  
 電話：03-5744-1135  
 メールアドレス：[supporter@city.ota.tokyo.jp](mailto:supporter@city.ota.tokyo.jp)

# 区政サポーター通信【第4号】

平成25年度  
最終号☆

## 区政サポーターの皆様へ

いつも大田区政にご理解とご協力を賜りまして、ありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

「区政サポーター通信第4号」では、「第3回アンケート調査」の集計結果（概要）および「平成25年度人権講演会」「大田の観光を考える公開座談会」への参加についてご報告いたします。

## 第3回アンケート調査結果（概要）

「(仮称)わたしの提案《区民提案制度》」の実施にあたり、区政サポーターの視点でのご意見などを伺い、利用しやすい仕組みづくりに反映するために実施しました。

### 1.調査期間

平成25年10月29日（火曜日）～11月12日（火曜日）

### 2.調査項目（下線は通信に掲載した項目です）

#### (1)「(仮称)わたしの提案《区民提案制度》」について

- ① 「(仮称)わたしの提案《区民提案制度》」のしくみについて
- ② わかりにくい、変えたほうがよいと思う理由
- ③ 「わたしの提案」の名称について
- ④ よりよいと思う名称
- ⑤ 「(仮称)わたしの提案《区民提案制度》」を書いてみての感想

#### (2)区政に関するお問い合わせについて

- ① 区政に関する質問をする場合に調べる方法
- ② 大田区ホームページの「よくある質問」コーナーの利用経験
- ③ 大田区ホームページの「よくある質問」コーナーを利用した感想
- ④ 大田区ホームページの「よくある質問」コーナーを利用しなかった理由
- ⑤ 区政に関する質問をする場合に調べたことがない理由

#### (3)「区政サポーター通信」について

- ① 今年度到大田区が実施したイベント等への参加経験
- ② 大田区が実施したイベントに参加した感想
- ③ 今年度到大田区以外の自治体が実施したイベント等への参加経験
- ④ 大田区以外の自治体が実施したイベントに参加した感想
- ⑤ 大田区が実施したイベントに参加せず、大田区以外の自治体が実施したイベントに参加した理由

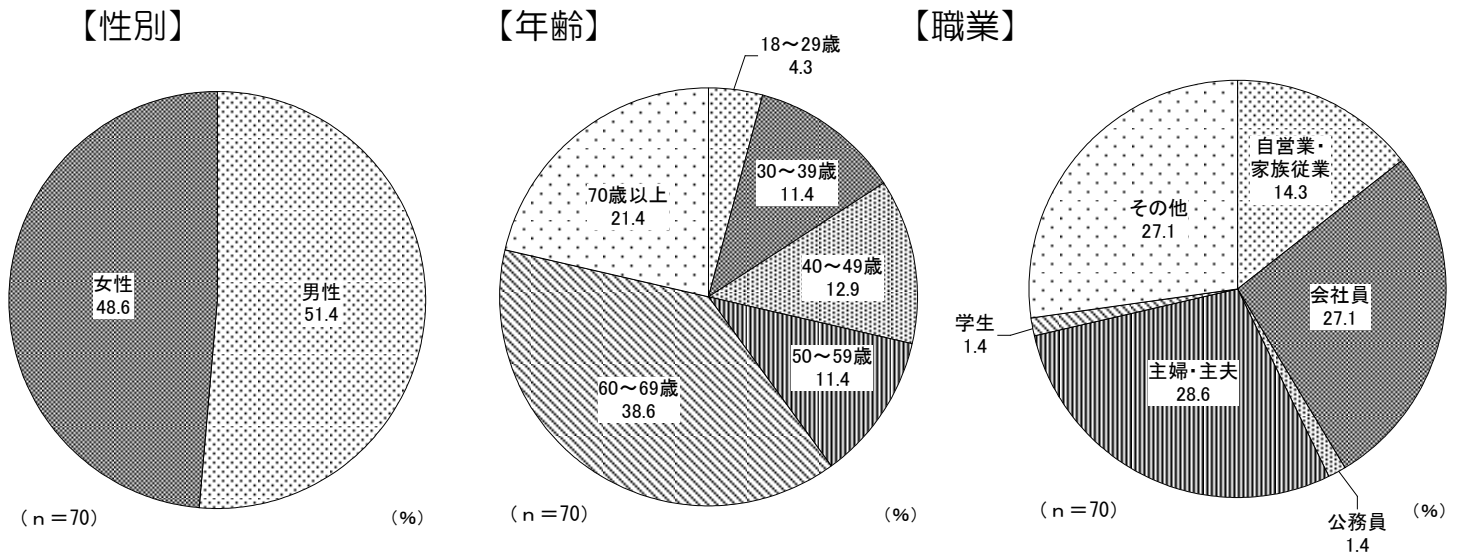
3.調査票回収結果 (調査票配付 99 票)

○調査票回収数 70 票 (うち郵送 31 票、Eメール 39 票)

○有効回収率 70.7%

【第3回アンケート調査結果】

1 回答者の属性



2 調査の結果 (抜粋)

【担当課コメント】

「(仮称) わたしの提案《区民提案制度》」は、区政サポーター制度と並ぶ区政に参画する仕組みとして、平成 26 年度からの実施を予定しています。これにより、区政の広聴機能の拡充と区政への参画機会の促進を図ることを目指しています (『おおた未来プラン 10 年』事業のひとつです)。

制度を実施するにあたっては、区民の皆様が区政に対して、前向きで建設的なアイデアをお寄せいただきやすい仕組みづくりが必要であると考え、今回、区政サポーターの皆様アンケート調査の中で試行にご協力いただきました。

その結果、提案制度のしくみについての説明のわかりやすさや、提出する際の提案用紙の項目や提出方法、提出場所などのご意見等をいただきましたので、制度の仕組みづくりに活用させていただきます。

併せて、区政に関するお問い合わせや「区政サポーター通信」についてもお伺いし、ご意見や情報提供をいただきましたので、それらを活かして今後もよりよい広聴相談の体系づくりに努めてまいります。

(区民の声課)



## 1. 「(仮称) わたしの提案《区民提案制度》」について

### (1) 「(仮称) わたしの提案《区民提案制度》」のしくみについて (大田区ホームページ)

問1 (Eメールでご回答の方へ)

「(仮称) わたしの提案《区民提案制度》」のしくみについての感想をお伺いします。

大田区ホームページでの「(仮称) わたしの提案《区民提案制度》」のしくみについての感想を4項目に分けて聞いたところ、「わかりやすい」の割合は、(1) 区ホームページ内での設置場所についてが79.5%、(2) 「意見・要望」と「問い合わせ(質問)」との区分けについての説明が76.9%、(3) 提案方法の説明文についてと(4) 入力フォームの記入方法の説明がともに87.2%となっています。

大田区ホームページでの「(仮称) わたしの提案《区民提案制度》」のしくみについての感想で、「わかりにくい」と答えた方に、4つの項目ごとにどのような点がわかりにくかったか、またどのように改善すればよいと思うか自由記述形式で聞いたところ、以下のとおり回答がありました。

掲載にあたっては、記述の趣旨を損なわないように留意しながら文言を改めたものもあります。すべてのご意見は、報告書に掲載いたします。

#### 【主な声】

##### (1) 区ホームページ内での設置場所について (6件)

- ・一番目立つ所に掲載を。
- ・左側の一番下にあるので、下までスクロールしなければ辿りつかず、中央下には画像入りのバナーがあるので、左側には目がいかない。左側上部「おおた子育てナビ」の下に同様のバナーとして「区民の声」があっても良いと思う。

##### (2) 「意見・要望」と「問い合わせ(質問)」との区分けについての説明 (8件)

- ・言葉の定義づけがあいまいに感じた。(同様3件)
- ・もともと同じように思えるため。ただ細かい問い合わせとごっちゃになって送られてくる可能性はありそう。

##### (3) 提案方法の説明文について (3件)

- ・4つの要件のうち、福祉の増大がある。提案は福祉に限定されているように思える。
- ・文章だけではなく、申請の流れをフローチャート風に説明があればわかりやすい。

##### (4) 入力フォームの記入方法の説明 (3件)

- ・提案の種別を選択できるようにしたらどうか。子育て、エコとか。
- ・項目をあれこれ分けられると余計に分かりにくい。ブランクにして、最初の注意書きに箇条書きで必要項目を記載するよう明記すればよいと思う。
- ・入力内容が画面の行数以上に跨る場合には、入力後にその行数分表示されるように改良してほしい。

(2) 「(仮称) わたしの提案《区民提案制度》」のしくみについて (提案用紙)

問1 (郵送でご回答の方へ)

「(仮称) わたしの提案《区民提案制度》」のしくみについての感想をお伺いします。

提案用紙を使った「(仮称) わたしの提案《区民提案制度》」のしくみについての感想を4項目に分けて聞いたところ、(1) 提案用紙の書き方の説明内容については、「わかりやすい」が64.5%、(2) 提案用紙の記入欄については、「わかりやすい」が67.7%となっています。(3) 提案用紙の提出方法(郵送、ファックス、窓口持参)については、「このままでよい」が74.2%、(4) 提案用紙の配付場所については「このままでよい」が54.8%となっています。

提案用紙を使った「(仮称) わたしの提案《区民提案制度》」のしくみについての感想で、「わかりにくい」「変えたほうがよい」と答えた方に、4つの項目ごとにどのような点がわかりにくかったか、またどのように改善すればよいと思うか自由記述形式で聞いたところ、以下のとおり回答がありました。

掲載にあたっては、記述の趣旨を損なわないように留意しながら文言を改めたものもあります。すべてのご意見は、報告書に掲載いたします。

【主な声】

(1) 提案用紙の書き方の説明内容について (8件)

- 提案用紙の書き方の問題ではなく、既存の「区へのご意見・ご要望」と本制度の差異がわかりにくい。前者の中に建設的な提案が含まれない単なる要望だけだとしたら問題だが、その中には「こうしたらいい」という提案もあるのではなからうか。ご意見・ご要望で「提案」に該当するものは新制度で処理されるのであれば良い。
- この制度は区内在住・在学・在勤なら年齢制限はないので、小学生でもわかる言葉で書いたほうがよいと思う(例: 必須→必ず)。

(2) 提案用紙の記入欄について (7件)

- 項目が多すぎて、書きにくいと思います。内容・理由は同じ場所に自由に書いた方が伝えやすいのではないか。
- 書くスペースが狭い。
- 年代(任意)となっているが、歳/年代でよいのでは。年代によりかなり差のあることもあるので、とても重要な参考意見となることもある。

(3) 提案用紙の提出方法(郵送、ファックス、窓口持参)について (5件)

- ホームページからの電子提案も設けられているようなので、特段問題はない。
- 実施後各自が郵送料負担とはきつい。いろいろなよい提案をもらうためには無料が必須。図書館とか、区の施設に回収箱を設置したらよいと思う。

(4) 提案用紙の配付場所について (9件)

- 区の図書館にも置いてあると便利。(同様3件)
- 民間であれ、病院・銀行・郵便局・飲食店等ありとあらゆる所に置くべき。(同様2件)

## (3) 「わたしの提案」の名称について

## 問 1 (全員の方へ)

「(仮称)わたしの提案《区民提案制度》」のしくみについての感想をお伺いします。

## (5) 名称(わたしの提案)について

「わたしの提案」の名称についての感想を聞いたところ、「このままでよい」が64.3%と高くなっています。「変えたほうがよい」は15.7%、「どちらでもよい」は18.6%です。

「わたしの提案」の名称について「変えたほうがよい」と答えた方(11人)に、どのような名称がよいと思うか自由記述形式で聞いたところ、10人から回答がありました。以下、原則として記述の原文を掲載します。

- ・わたしの区政提案
- ・“やってみようよ、こんなこと”とか、提案というより、何かのきっかけや区民としての切り口を求めているのだったら、気楽に投稿できるような名称にしたらいかがか。
- ・「提案」は少しハードルが高く感じるので、思い、声、つぶやきとか
- ・区民からの提案
- ・「私の思い」「わたしのOMOI」。提案はかたくなる感じがします。
- ・大田区を住みよい、すてきな区にするための提案なので、この名称だと弱すぎると思います。良い単語が出てきませんが…「リピート大田区への提案」「ベスト大田区への提案
- ・①私の区政に関する提案。②福祉向上提案。③大田区いきいき提案。
- ・私たちがもっと住みやすくなるために
- ・もっとインパクトのある名称を
- ・名称はそのままでもいいと思いますが、匿名性との選択方式がよいと思います。

## 【「(仮称)わたしの提案」を書いてみての感想等】(抜粋)

- ・中高年者の希望のひとつを提案できたので、実現にこだわらず、ある程度の満足感はある。
- ・欄が多少足りないところもあるので、その際は裏面を使用してとの記述を入れたほうがよいのでは。
- ・わざわざ「わたしの提案」としなくとも、今までに寄せられた区民の声の中に、提案に近い声があれば、よいものを提案としてとりあげて、柔軟に区政にとりあげてもよかったのでは？広い視野と長期的展望がともなう提案が寄せられるとよい。
- ・「ご要望メール」との違いがいまひとつわからない。
- ・メールを送ると通信障害やボタンの押し間違えなく、ちゃんと送れているか、また一度出した提案を送信したとの記録が残るため、登録アドレス、受理しました等の返信メールが行くようにしたほうがよいのではないかと思う。

## 2.区政に関するお問い合わせについて

### (1)区政に関する質問をする場合に調べる方法

問2 あなたは、区政に関する質問をする場合、どのような方法でお調べになりますか。

区政に関する質問をする場合、どのような方法で調べるか聞いたところ、「大田区ホームページ」が52.9%で最も高く、次いで、「直接電話をする」(38.6%)、「窓口へ出向いて直接話す」(27.1%)の順となっています。「調べたことがない」は21.4%でした。

### (2)大田区ホームページの「よくある質問」コーナーの利用経験

問2-1 (問2で「大田区ホームページ」と答えた方にお伺いします)

現在、大田区ホームページには、区政に関してよくお寄せいただく質問をまとめたコーナー(「よくある質問」)を設けています。このコーナーをお使いになりましたか。

区政に関する質問をする場合に、「大田区ホームページ」を使って調べると答えた方(37人)に、区政に関してよくお寄せいただく質問をまとめた「よくある質問」コーナーを利用したか聞いたところ、「使った」は43.2%、「使わなかった」は56.8%となっています。

掲載にあたっては、記述の趣旨を損なわないように留意しながら文言を改めたものもあります。すべてのご意見は、報告書に掲載いたします。

#### 【実際に利用した方の感想】(抜粋)

##### ◎満足した方の意見(7件)

- ・わかりやすかった。
- ・キーワード検索が情報アクセスに役立った。
- ・分野別に分かれていて、調べやすかった。

##### ◎不満を持った方の意見(7件)

- ・見つけられなかった。
- ・分野が分かれていて見やすいが、目的の答えにたどり着くまでに何度もクリックをしなければいけないのは少し大変だった。
- ・各分野の想定質問が少なすぎる。電話でももっと多様な質問が寄せられていると思うので、それらをまとめて簡略化してQ&Aに入れてほしい。

#### 【利用しなかった方の主な理由】(抜粋)

##### ◎「よくある質問」コーナーを利用しなくても問題が解決した

- ・検索を利用した方が、早く目的のページが開けると思ったから。
- ・ホームページで担当部署を調べて直接電話した。

##### ◎「よくある質問」コーナーの内容に不満がある

- ・あまり参考にならないから。
- ・必要な内容ではないから。その程度の内容なら質問しなくても分かる。

##### ◎「よくある質問」コーナーを知らなかった

- ・そのようなものがあると知らなかった。

- ・よくある質問という抽象的な言葉では、内容がわかりにくい。
- ◎問い合わせをする必要がなかった
  - ・そういった機会がまだない。
  - ・調べたい項目が見つからない。
- ◎区ホームページをあまり利用しない
  - ・使い方がわからない
  - ・うまくできなかった。

### 3. 「区政サポーター通信」について

#### (1) 今年度到大田区が実施したイベント等への参加経験

問3 今年度（平成25年4月以降）に大田区が実施するイベント等に参加したことがありますか。

今年度（平成25年4月以降）に大田区が実施するイベント等に参加したことがあるか聞いたところ、「ある」は37.1%、「ない」は62.9%となっています。

#### (2) 大田区が実施したイベントに参加した感想

（問3で「ある」と答えた方にお伺いします）  
 問3-1 それは、どのようなイベントでしたか。イベント名や場所などをお書きください。  
 問3-2 そのイベントに参加されたご感想をお書きください。

今年度（平成25年4月以降）に大田区が実施するイベント等に参加したことが「ある」と答えた方（26人）に、参加したイベントと、参加した感想を自由記述形式で聞き、イベント名ごとに分類した上で、ご感想について、原則として記述の原文を掲載しています。すべての感想は、報告書に掲載いたします。

イベント名	人数	感想（主な声）
昨年のOTAふれあいフェスタ	7名	多くの方が年に数回でもイベントで集まるのは、その地域に住んでいるのを実感する良い機会と理解している。
		年々、人の出もよく行くことが非常に楽しみ。内容も充実して他の区からもうらやましがられている。
		地元商店街、地元企業多数の出展により新たな発見があった。
		子供たちが楽しそうだった。
区民スポーツまつり	6名	2~3日くらいあると、ほかに参加したい運動、知りたいスポーツが試せるが、太極拳や民踊等同じ時間帯では、あきらめざるを得ない。
		体力測定で、生涯スポーツに取り組んでいる人が意外といふと思った。

		区内のプレイヤーが衰退気味のゲートボールを、小中学生にも知って親しんで貰うため、協力した。今後もより関心を持ってもらえる様、努力したい。
おおた商い観光展	3名	大田区内の色々なお店の商品を買う事ができてとても面白かった。
		観光協会の展示物が面白かった。
憲法週間記念人権講演会	3名	色々な境遇の方がいることを知ることにより、平和、平等への啓発心が湧いてきました。
		苦しい状況の中で、生き抜いたことはすごいことだと思った。
大田区文化祭	2名	「吹奏楽祭」に毎年参加している。このような機会があって大田区に住んで良かった。
		積極的に参加しており、今後はボランティアにも参加する。
花火の祭典	2名	素晴らしい！あれだけの人数の区民が一緒になって楽しめる、あるいは平和を願えるイベントはない。もう少し長くしてもらいたい。
区民大学	2名	区民の知り合いが増える。
エセナフォーラム	2名	ややお祭りすぎるくらいがあるものの、高齢者が楽しんで一日を過ごしているのは良いことだ。
パブリックコメント説明会	2名	いろいろと勉強になる。地域の文化、歴史の再発見になる。
おおたユニバーサル駅伝	2名	少しでも障がい者のために、トイレなど協力して、コース整備を図りたい。
		年々良くなってきていると思う。
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>• おおたの桜ウォーク</li> <li>• 東京スポーツ祭 2013 カヌー競技</li> <li>• 寿ハイキング</li> <li>• こどもガーデンパーティー</li> <li>• 大田区生活展</li> <li>• おおたの教育研究発表会</li> <li>• 工場見学</li> </ul> <p style="text-align: right;">他</p>

## 平成 25 年度人権週間講演会

わが国では、毎年 12 月 4 日から 10 日までの一週間を「人権週間」と定めています。

区では、基本的人権の大切さについて、正しい理解と認識を深めていただくために様々な啓発活動を行っています。

今回、人権週間行事として、下記のとおり講演会を開催し、区政サポーターの皆様に参加していただきました。

### ◇人権週間講演会◇

(1)日 時 平成 25 年 12 月 4 日(水曜日) 午後 1 時 45 分～午後 3 時 30 分

(2)場 所 大田区民プラザ

(3)講演内容 『強さは優しさ～柔道から学んだこと』

講演：山口 香氏

(4)参加者

一般来場者 350 名 うち、区政サポーター 34 名



講師：山口 香氏



講演の様子

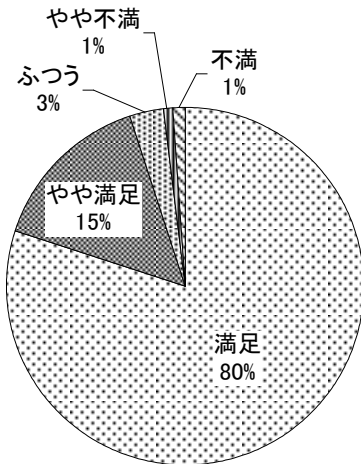


会場の様子

## 【人権週間講演会アンケート集計結果】(アンケート回収率 49.4%)

※区政サポーターの方を含め、講演会当日にアンケートを提出いただいた方全員の集計結果となります。

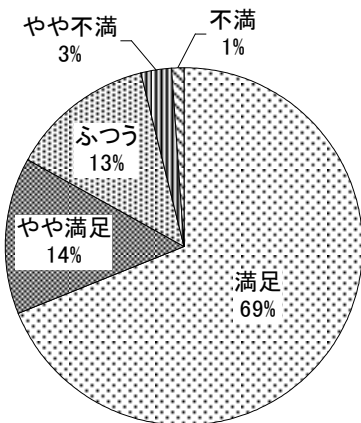
### 1 講演内容について



#### 【自由意見】(主な声)

- ・山口さんのエネルギー、情熱を感じる講演だった。
- ・人権という重い話の中で、今回の講師は良かった。
- ・スポーツを通して話され、とてもよかった。
- ・大変良く、今後の子供たちの見守りに活用する。
- ・素晴らしい(人権週間にふさわしい)講演だった。
- ・若い世代の方へもこの講演内容を伝えてほしい。
- ・笑いあり学びあり余談ありの大変貴重な時間だった。
- ・とても滑舌のいいお話で胸がスッキリとよかった。
- ・本音トークでおもしろかった。
- ・わかりやすくとても良かった。私達の時代に合った考え方だった。今の子どもたちにいろいろと教えるのは難しいと思う。
- ・指導者の話、人間力の話など、今までにない講演だった。
- ・わかりやすく自己の体験を踏まえて話してくれたので、すごく実感が伝わってきた。感謝感激だ。

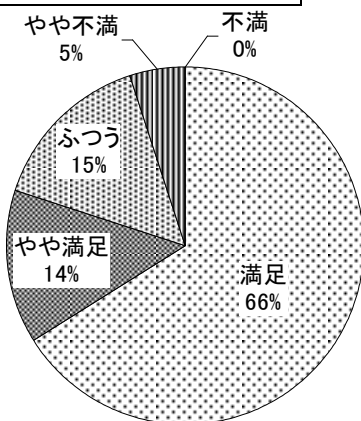
### 2 講演時間について



#### 【自由意見】(主な声)

- ・講演時間が少し長かった。
- ・講演時間は午後で良かった。  
主婦にとっては午前中は難しい。
- ・意義深く世間に広く知らしめる為にも、土日祝日開催あるいは、平日 19 時過ぎを考えてほしい。特に若い方々に機会を!
- ・働いている人、学生にも聞いてほしいければ土曜日などを考えてはどうか。
- ・講演時間が長すぎる。

### 3 会場について



#### 【自由意見】(主な声)

- ・携帯の呼び音 2 件が気になった。会場はもう少し暗くした方が聞きやすいと思う。
- ・アプリコの方が良かった。
- ・会場の空気が乾燥しすぎ。
- ・エレベーターなしで階段ばかり高齢者に不向きな施設。
- ・会場は駅に近くて便利。



## 「大田の観光を考える」公開座談会

今年度は大田区観光振興プラン推進のための重点計画の見直しを行うこととなっています。そこで、これからの大田区の観光について広く皆様からご意見をお伺いするため、公開座談会を開催し、区政サポーターの皆様に参加していただきました。ご協力ありがとうございました。

### ◇「大田の観光を考える」公開座談会◇

(1)日 時 平成25年12月5日(木曜日) 午後6時30分～8時15分

(2)場 所 大田区役所2階 201・202会議室

(3)テーマ 「これからの大田区の観光について」

### (4)出席者(順不同、敬称略)

帝京大学経済学部観光経営学科学科長教授	大下 茂
NPO法人大森まちづくりカフェ理事	高田 あや
大田・品川まちめぐりガイドの会	堀江 信之
来～る大田区大使(大田区観光大使)	蔡 復全
来～る大田区大使(大田区観光大使)	譚 振華
一般社団法人大田観光協会事務局長	栗原 洋三
大田区産業経済部長	柿本 伸二
大田区産業経済部観光課長	青木 毅

区政サポーター	23名(座談会参加者も含む)
一般来場者	16名

### (5)式次第

- 挨拶 大田区産業経済部長
- 本会に関する説明
  - ・本会の趣旨、出席者紹介、傍聴に関わる事項 等
- 説明
  - ・大田区の観光施策及び過去の事業紹介
  - ・大田区観光振興プランの推進に向けた重点計画
- 意見交換

## 【「大田の観光を考える」公開座談会アンケート集計結果】

※個人情報の関係上、区政サポーターの方のみを集約することができませんので、当日にアンケートを提出いただいた方全員の集計結果となります。

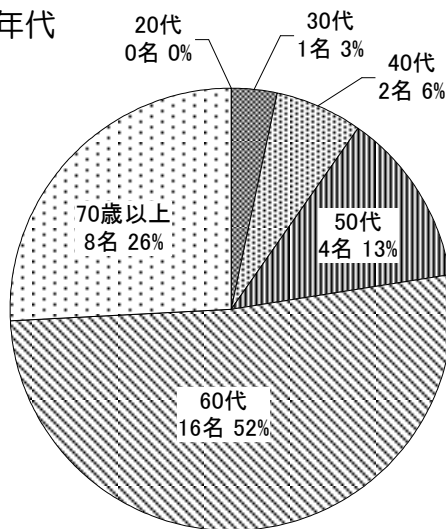
### 1 参加者について

- 参加者数 39名
  - 《内訳》一般来場者 16名
  - 区政サポーター 23名 (フリートークによる座談会参加者を含む)
- アンケート有効回答数 31枚

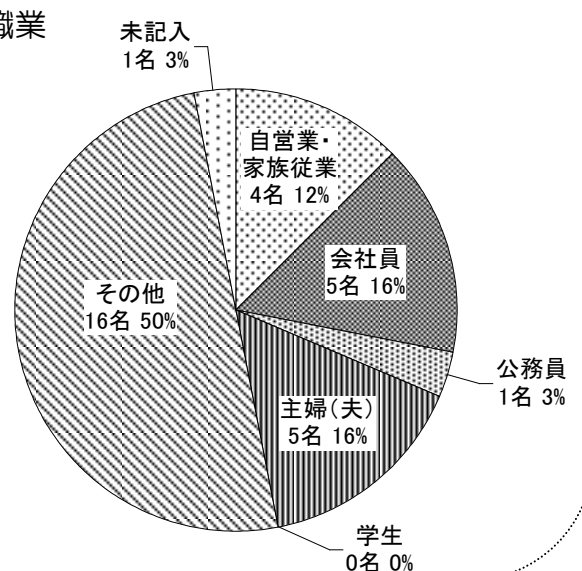
#### 【属性】

- 性別：男性 19名 女性 12名

#### ○年代



#### ○職業



### 2 アンケート集計結果

Q1 あなたが思う大田区のお勧めスポットや大田区ならではのということを教えてください。

#### ◆主なスポット

- ・羽田空港 ・池上本門寺 ・多摩川 (周辺景観・赤レンガ堤防) ・洗足池

#### ◆その他スポット

- ・六郷用水 ・黒湯温泉、銭湯 ・城南島、京浜島 ・つばさ公園 ・水辺、自然
- ・多数の桜の名所 ・熊谷恒子記念館 ・龍子記念館 ・馬込文士村・活気ある商店街
- ・町工場 ・田園調布

#### 《ご意見》(主な声)

- ・駅からのアプローチが大事なので駅名の変更を希望 (多摩川駅、沼部駅 ⇒ 桜坂)

- ・大田区の顔、区のイメージキャラクターが視覚的に漠然として見えてこない
- ・大田、羽田、蒲田で「タッタッタ大田」キャッチフレーズが必要。
- ・大田区らしさは、自然・地形、歴史、生活・文化、見せ方を工夫すれば資源はある。
- ・旅行者とタイアップするなどして羽田空港利用者が商店街を訪れるような工夫が必要。
- ・区内でここはという他にまさるスポットは思いつかない。
- ・最近は大森や蒲田に美味しいとんかつやラーメンのお店が増えている。

Q2 大田区への来訪者を増やすためには、どのようなことに力を入れたら良いと思いますか。

(主な声)

- ・観光まつりの強化、浅草がサンバ(リオのカーニバル)なら、大田はフレンチカンカン(仏)
- ・継続した話題の提供(未公開施設や期間限定の公開など話題を継続して提供し関心をひく)
- ・観光博等への出展、JNTOとの連携、旅行会社へのアプローチ
- ・観光案内専門家の育成。
- ・ケーブルテレビ等で区の観光スポットを紹介する。
- ・区のスポットを巡るマラソン大会の開催。
- ・ツイッター、フェイスブックの効果的な活用。カリスマツイッター、ブロガーの活用。
- ・交通網の整理や案内サインの設置。
- ・大森駅や蒲田駅に観光協会のデスク設置←観光協会の場所を知らない区民が多い。
- ・観光地化することを無理に考えず住みやすい+TAC地と個性的な商店街を作り上げる。
- ・日本の伝統や大田の芸能を紹介するミュージアムのような場を作る。
- ・多摩川での水陸両用バスの運行。
- ・環八アクセスで田園調布、久が原等の住宅地に民宿機能を発展させる。
- ・銭湯のPR
- ・体験型観光の推進
- ・鉄道事業者との連携、イベントの開催の強化
- ・川瀬巴水の魅力を国内外に発信する。
- ・情報発信の強化。(HPの充実、早期情報発信、外部への情報発信)
- ・環境の整備、ものづくり産業で観光用車両のデザインや製造をする。
- ・衛生的で安全なまちづくりと景観の整備。
- ・歩きたばこの規制。
- ・外国人を中心にPRをする。日本人には興味がなくても、外国人にとっては魅力的なものがある。日本の文化が面白い。
- ・羽田空港から回遊させる提案が必要。

Q3 これからの5年間で、大田区が観光振興を進めるにあたって大切なことはどのようなことだと思いますか。

(主な声)

- ・清潔な環境づくり(ゴミ出しネットも工夫を)

- ・観光部門の組織強化
- ・交通網の整備、強化
- ・「羽田空港」「町工場」を中心とした「大田ミュージアム」のような大田区の自然、歴史、文化を五感で味わえる施設の設置。
- ・物産を売り出す工夫。大田のお土産を空港で販売するなど。
- ・観光振興の重要性を区民に意識づける。区民からの発信。
- ・ターゲットの明確化
- ・多言語対応
- ・町工場見学の推進
- ・オリンピックを意識した観光振興事業の推進
- ・カード決済ができる場所を増やす。
- ・民家を利用した宿泊施設の拡充（ホームステイ、民宿）、外国人へのリーズナブルな宿の提供

Q4 本日の座談会を聞いて感想や大田区の観光についての意見等、ご自由にお書きください。

(主な声)

- ・行政と区民との連携が必要。公募するなどして観光振興プランを作る。
- ・大下教授の提案に賛成する。教授の話が大変役に立った。
- ・口コミを利用して活性化する。箱モノの建設は反対である。
- ・区民自身が区の魅力を知ることの重要性を感じた。
- ・松濤園を年中公開にしてほしい。
- ・大田区のPRが足りない。もっとさまざまな方法でのPRが必要。
- ・「産」「官」「学」の連携が必要だが、大学が少なく「学」の部分が弱い。
- ・洗足池周辺にコーヒー店がない。池を眺めながら休める場所がほしい。
- ・大田区の観光のブランド化を先行することは失敗の可能性が高い。
- ・観光に対する興味、意欲、認識、自覚などの環境整備が重要である。
- ・公開座談会をもっと開催してほしい。
- ・観光について、大田区はまだ初歩。区内には素晴らしい場所が多数あるので、協力していきたい。
- ・区民一人ひとりが観光大使であると再認識した。
- ・食べ物についての意見が出なかった。食は関心が高いので、羽田のアサリ等を利用してはいかがか。
- ・協会やボランティア、議員、行政等が、それぞれ個々で頑張っていると思うが、うまくかみ合っていない。バラバラでうまく機能していないように思える。行政は部や課を超えた一本化が必要だと思う。
- ・口コミは大事なので我々が担っていく。行政は点ではなく面での情報発信をしてほしい。
- ・観光課ができていながら5年間の実績が弱い。オリンピックまでにはもっと具体的な行動ができるような企画をすべきである。

## 【あしがき】

5月の区政サポーター会議からスタートし、3回のアンケート調査やパブリックコメントの募集、イベント等への参加にご協力いただきありがとうございました。

なお、今年度サポーター活動の詳細を掲載した「活動報告書」は、3月末にお送りする予定です。

平成26年度には、第3回アンケート調査でご協力いただいた「区民提案制度」が実施予定となっております。事務局としましても、皆様からいただいたご意見等を反映させながら、区政サポーター制度ともども、よりよいものにしていきたいと考えておりますので、今後ともご協力のほどをよろしくお願いいたします。

大田区役所 区民の声課 区政サポーター担当

電話：03-5744-1135

メールアドレス：[supporter@city.ota.tokyo.jp](mailto:supporter@city.ota.tokyo.jp)

